

平成 1 6 年度 事業報告書

(財) 滋賀県水産振興協会

平成 1 7 年 7 月

1 事業概要

1.1 温水魚資源対策

1.1.1 ニゴロブナ資源増大対策事業

ニゴロブナ資源量の急激な減少に対処して、資源の維持増大を図るため、種苗の生産放流を国、県補助対象事業、一部、協会単独事業として実施した。放流効果を向上させるため、大型種苗を生産放流した。

事業目標 事業の長期計画にもとづき、全長20mmサイズ9,000千尾(うち水田放流分5,000千尾)、120mmサイズ1,200千尾を放流目標とした。(計10,200千尾)

放流の実績

全長 26.5 mm サイズ	7,486千尾	(うち水田放流分 6,609千尾)
全長 58.1 mm サイズ	256千尾	
全長 103.5 mm サイズ	1,304千尾	
計	9,046千尾	

放流効果確認実証調査 水産試験場と共同で、効果の確認実証に努めた。

放流魚の混獲率は高いレベルになっており、放流種苗の大型化の効果と見られる。

(参考)平成16年度混獲率調査結果(小糸漁獲魚)	63%	(途中結果)
平成15年度混獲率調査結果(小糸漁獲魚)	38%	
平成14年度混獲率調査結果(小糸漁獲魚)	31%	

1.1.2 ホンモロコ資源増大対策事業

ホンモロコ資源の回復を図るため、種苗生産放流事業を国、県補助事業、一部、協会単独事業として実施した。

事業目標 全長20mmサイズ、3,000千尾を放流目標とした。

放流の実績 全長21.3mmサイズ、3,004千尾(内水田放流35千尾)

放流効果実証事業 水産試験場と共同で、効果の確認実証に努めた。

(参考)平成16年度漁獲魚混獲率	45%	(途中結果)
平成15年度漁獲魚混獲率	76%	
平成14年度漁獲魚混獲率	30%	

1.1.3 増殖施設処分事業（新規・県補助事業）

老朽化した海老江地先の初期保育施設を撤去し、原状に回復した。

1.1.4 沿整増殖場施設管理事業（県委託事業 年間）

ホンモロコ、ニゴロブナ等温水魚の繁殖を保護助長するため県が沿岸漁場整備開発事業で設置した14ヶ所の増殖場施設を、その有効適切な活用に資するため、県の委託を受けて定期点検管理を実施した。

1.1.5 ニゴロブナ、ホンモロコ保護水面管理事業（県委託事業 4月1日～8月10日）

ニゴロブナ、ホンモロコ等の産卵繁殖を保護助長するため、湖北町及び近江八幡市地先に県が指定する保護水面の監視、管理、清掃等の業務を、県の委託を受けて実施した。

1.2 鮎資源対策

1.2.1 アユ人工河川管理運用事業（県委託事業 年間）

琵琶湖総合開発後の水位変動に対応して鮎資源の維持培養を図るため県が設置した姉川、安曇川の人工河川施設を県の委託を受けて管理運用し鮎資源の増殖に努めた。

アユ親魚の購入、管理 産卵用親魚を確保するため、養成魚7.3トンを購入した（8月下旬～9月上旬）。人工河川産卵床へ親魚放流、産卵孵化、仔魚流下等の管理（8月末～11月）。

親魚放流量 7.3トン（購入親魚）+ 0.6トン（天然遡上親魚等）＝
7.9トン

流下仔魚数 20.4億尾

両人工河川の通年維持管理

1.2.2 アユ保護水面管理事業（県委託事業 7月15日～12月10日）

水産資源保護法の規定に基づき知事が指定した保護水面区域（8河川）において、産卵アユの密漁、産卵アユの散逸および産卵孵化を妨げる行為の未然防止のため、監視等を行った。

1 事業概要

(財) 滋賀県水産振興協会

1.2.3 アユ産卵場造成事業（県委託事業 7月15日～9月15日）

アユ保護水面区域（8区域）において、産卵場を耕耘することにより、産卵に適した河床を造成した。

1.3 情報提供事業

関係漁業組合等に対して、水振協ニュースを発行し、つくり育てる漁業の啓発等に努めた。また、インターネットによるホームページを開設し、広く県民に県民に水産情報を始め各種提供、交換に努めた。

2 貸借対照表

2005年3月31日

財団法人 滋賀県水産振興協会
一般会計

(単位:円)

科目	金額		
【資産の部】			
流動資産			
現金預金	3,825,188		
有価証券	1,067,387		
未収入金	4,888,424		
流動資産合計		9,780,999	
固定資産			
基本財産			
投資有価証券	11,000,000		
基本財産合計	11,000,000		
その他の固定資産			
建物	243,986,375		
構築物	391,521,700		
車両運搬具	6,647,055		
什器備品	103,912,243		
船舶	7,700,000		
減価償却累計額	439,492,598		
電話加入権	257,227		
鮎資源対策積立預金	10,000,000		
退職給与引当預金	22,459,565		
温水魚資源対策積立預金	1,159,336,301		
水産加工業振興対策積立預金	200,000,000		
その他の固定資産合計	1,706,327,868		
固定資産合計		1,717,327,868	
資産合計			1,727,108,867

2 貸借対照表

(財) 滋賀県水産振興協会

【負債の部】			
流動負債			
未払金	6,686,760		
預り金	306,394		
流動負債合計		6,993,154	
固定負債			
退職給与引当金	22,459,565		
固定負債合計		22,459,565	
負債合計			29,452,719
【正味財産の部】			
正味財産			1,697,656,148
(うち基本金)			(11,000,000)
(うち当期正味財産減少額)			(38,971,052)
負債及び正味財産合計			1,727,108,867

3 収支計算書

2004年4月1日から2005年3月31日

財団法人 滋賀県水産振興協会
一般会計

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
【収入の部】				
基本財産運用収入	82,000	82,500	500	
補助金等収入	107,392,000	107,082,304	309,696	
負担金収入	9,700,000	9,700,000	0	
雑収入	24,582,000	24,607,089	25,089	
特定預金取崩収入	16,622,123	16,622,123	0	
当期収入合計 (A)	158,378,123	158,094,016	284,107	
前期繰越収支差額	5,296,877	5,296,877	0	
収入合計 (B)	163,675,000	163,390,893	284,107	
【支出の部】				
ニゴロブナ資源増大対策事業費	75,220,000	75,179,252	40,748	
情報提供事業費	97,000	95,628	1,372	
ホンモロコ資源増大対策事業費	14,408,000	14,353,443	54,557	
沿整増殖場管理事業費	4,418,000	4,418,000	0	
鮎保護水面管理事業費	890,000	890,000	0	
鮎保護水面管理事業費	1,468,000	1,468,000	0	
鮎産卵場造成事業費	2,370,000	2,370,000	0	
増殖施設処分事業費	5,140,000	5,140,000	0	
鮎人工河川管理運用事業費	28,600,000	28,289,424	310,576	
管理費	26,761,000	26,196,301	564,699	
特定預金支出	2,203,000	2,203,000	0	
当期支出合計 (C)	161,575,000	160,603,048	971,952	
当期収支差額 (A)-(C)	3,196,877	2,509,032	687,845	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	2,100,000	2,787,845	687,845	

4 正味財産増減計算書

2004年4月1日から2005年3月31日

財団法人 滋賀県水産振興協会
一般会計

(単位：円)

科目	金額		
【増加の部】			
資産増加額			
退職給与引当預金増加額	2,203,000	2,203,000	
負債減少額			
増加額合計			2,203,000
【減少の部】			
資産減少額			
当期収支差額	2,509,032		
固定資産除去額	1,622,500		
建物減価償却額	6,805,386		
構築物減価償却額	9,879,086		
什器備品減価償却額	1,532,925		
その他積立預金取崩額	16,622,123	38,971,052	
負債増加額			
退職給与引当金繰入額	2,203,000	2,203,000	
減少額合計			41,174,052
当期正味財産減少額			38,971,052
前期繰越正味財産額			1,736,627,200
期末正味財産合計額			1,697,656,148

5 財産目録

平成 17 年 3 月 31 日

(単位：円)

(資産の部)			
1. 流動資産			
1. 現金預金			
(1) 現金	15,512		
(2) 普通預金	3,809,676		
(3) 有価証券公社債投信	1,067,387		
(4) 未収入金 滋賀県補助金等	4,888,424		
流動資産合計		9,780,999	
2. 固定資産			
1. 基本財産			
(1) 金融債	11,000,000		
基本財産合計	11,000,000		
2. その他固定資産			
(1) 建物栽培センター関係 5 棟	243,986,375		
減価償却累計額	71,361,942		
(2) 構築物	391,521,700		
初期保育施設	65,850,000		
栽培センター関係	288,753,700		
中間施設筏	36,918,000		
減価償却累計額	257,981,902		
(3) 車輛運搬具			
自動車 6 台他	6,647,055		
減価償却累計額	6,314,703		
(4) 備品	103,912,243		
減価償却累計額	96,519,051		
(5) 船舶 4 隻	7,700,000		
減価償却累計額	7,315,000		
(6) 電話加入権	257,227		
(7) 退職給与積立引当預金	22,459,565		

(8) 温水魚資源対策積立預金	1,159,336,301		
国債	99,995,410		
地方債	49,840,000		
金融債	28,741,035		
社債登録債	349,993,315		
公社債投信	420,000,000		
外国証券	100,000,000		
投資信託	5,750,827		
びわこ銀行 普通預金	30,020,000		
滋賀銀行 普通預金	74,995,714		
(9) 水産加工業振興対策積立預金			
滋賀銀行 普通預金	200,000,000		
(10) 鮎資源対策積立預金	10,000,000		
普通預金	10,000,000		
その他固定資産合計	1,706,327,868		
固定資産合計		1,717,327,868	
資産合計			1,727,108,867
(負債の部)			
1. 流動負債			
1. 未払金	6,686,760		
沿整増殖場施設			
2. 預り金 社会保険料	304,894		
草津市勤労者互助会	1,500		
流動負債合計		6,993,154	
2. 固定負債			
1. 退職給与引当金	22,459,565		
固定負債合計		22,459,565	
負債合計			29,452,719
正味財産			1,697,656,148

6 平成17年度事業計画

6.1 ニゴロブナ・ホンモロコ資源増大対策事業（国・県補助事業、 県委託）

ニゴロブナ、ホンモロコ漁獲量の急激な減少に対処して資源の維持と増大を図るため、栽培漁業センターや水田の生産力を利用して生産効率を高めながら、増殖効果の高い種苗の生産放流を実施する。あわせて放流効果と放流方法の改善に資するため標識調査を実施する。

- ニゴロブナ

- (1) 放流目標：全長 2cm 6,000 千尾 (水田放流)

- (2) 放流目標：全長 12cm 1,300 千尾

- ホンモロコ

- (1) 放流目標：全長 2cm 6,000 千尾 (うち、協会自主事業 300 千尾)

- (2) 放流目標：全長 2cm 100 千尾 (水田放流)

6.2 沿整増殖場施設管理点検事業（県委託事業・年間）

沿岸漁場整備開発事業により設置された増殖施設 15ヶ所の管理点検を行う。

6.3 ニゴロブナ、ホンモロコ保護水面管理事業（県委託事業・4 月～7月）

重要温水魚の産卵繁殖場を守るため、湖北町延勝寺及び近江八幡市牧町地先の保護水面の管理、清掃を行う。

6.4 アユ保護水面管理事業（県委託事業・9月1日～11月30日）

水産資源保護法の規定に基づき知事が指定したアユ保護水面区域（8区域）において、産卵アユの密漁、産卵アユの散逸および産卵ふ化を妨げる行為の未然防止のため監視等を行う。

6.5 人工河川管理運用事業（県委託事業・年間）

アユ資源の維持、培養を図るため健全な購入親魚を人工河川に放流して効果的に産卵、ふ化、仔魚の流下を助長することによりアユ資源の安定化を図る。

放流親魚量：10トン

6.6 増殖施設処分事業

老朽化した雄琴地先の初期保育施設を撤去し、原状に回復する。

6.7 情報提供事業

インターネットによるホームページや協会ニュースの発行などにより、漁業者および県民に琵琶湖栽培漁業センターの事業を中心とした水産業の情報の提供に努める。

6.8 シジミ資源増大対策事業（県漁連委託事業 4～8月）

セタシジミの資源および漁獲量の大幅な減少に対処し資源の回復をはかるため、漁連が実施する種苗の生産放流事業のうち、種苗生産部分を漁連より受託し、種苗の生産・供給を行う。

生産目標 放流種苗 D型仔貝 35億個

6.9 アユ人工河川緊急稼働事業（県委託事業）

今期低水準にあるアユ資源の状況に対処して、緊急的に人工河川の親魚養成池を稼働して親魚生産を行い、生産親魚および遡上親魚の追加放流により次期資源の維持回復を図る。

親魚生産（放流）量 13トン

6.10 天然アユ産卵保護強化事業（県委託事業）

次期アユ資源維持の緊急対策の一環として、アユ保護水面（8地域）においてカワウの食害防除を実施し、天然遡上親魚による再生産を助長する。

7 平成17年度 収支予算書

平成17年4月1日から平成18年3月31日

財団法人 滋賀県水産振興協会

一般会計

(単価:円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
【収入の部】				
基本財産運用収入	82,000	82,000	0	
補助金等収入	122,577,000	107,392,000	15,185,000	
負担金収入	9,700,000	9,700,000	0	
雑収入	13,139,155	24,582,000	11,442,845	
特定預金取崩収入	34,600,000	16,622,123	17,977,877	
当期収入合計 (A)	180,098,155	158,378,123	21,720,032	
前期繰越収支差額	2,787,845	5,296,877	2,509,032	
収入合計 (B)	182,886,000	163,675,000	19,211,000	
【支出の部】				
ニゴロブナ・ホンモロコ資源増大対策事業費	80,393,000	89,628,000	9,235,000	
情報提供事業費	97,000	97,000	0	
シジミ資源増大推進事業費	4,416,000	0	4,416,000	
沿整増殖場管理事業費	3,000,000	4,418,000	1,418,000	
鮎保護水面管理事業費	890,000	890,000	0	
鮎保護水面管理事業費	1,468,000	1,468,000	0	
鮎産卵場造成事業費	0	2,370,000	2,370,000	
天然鮎産卵保護強化事業費	3,500,000	0	3,500,000	
増殖施設処分事業費	4,500,000	5,140,000	640,000	
鮎人工河川管理運用事業費	29,200,000	28,600,000	600,000	
鮎人工河川緊急稼働事業費	21,500,000	0	21,500,000	
管理費	26,886,000	26,761,000	125,000	
固定資産取得支出	3,697,000	0	3,697,000	
特定預金支出	2,339,000	2,203,000	136,000	
予備費	1,000,000	0	1,000,000	
当期支出合計 (C)	182,886,000	161,575,000	21,311,000	
当期収支差額 (A)-(C)	2,787,845	3,196,877	409,032	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	0	2,100,000	2,100,000	

8 役員名簿

(平成17年6月現在)

役職名	氏名
理事長	廣田 義治
副理事長	鳥塚 五十三
常任理事	菅沼 潔
理事	奥村 治一郎
"	杉本 敏隆
"	田井中 一男
"	谷口 孝男
"	茶谷 力
"	中嶋 信夫
"	永尾 一夫
"	橋本 俊和
"	林 英志
"	東 文一
"	松井俊治
"	松田繁雄
監事	浅井庄平
"	駒井 順一
"	苗村 蔵光

役職名	氏名
評議員	青木 幸一
"	氏家 宗二
"	遠藤 誠次
"	大江 孝二
"	太田 豊三
"	小林 眞
"	斎藤 龍次郎
"	竹田 忠雄
"	中山 幸雄
"	西村 博次
"	疋田 志寿春
"	藤岡 康弘
"	藤原 公一
"	古川 久克
"	望月 幸三
"	森田 秀次
"	吉田 守

(50音順)